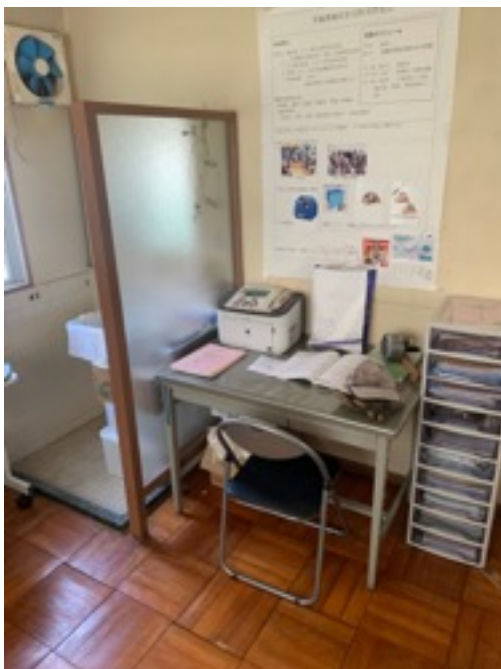
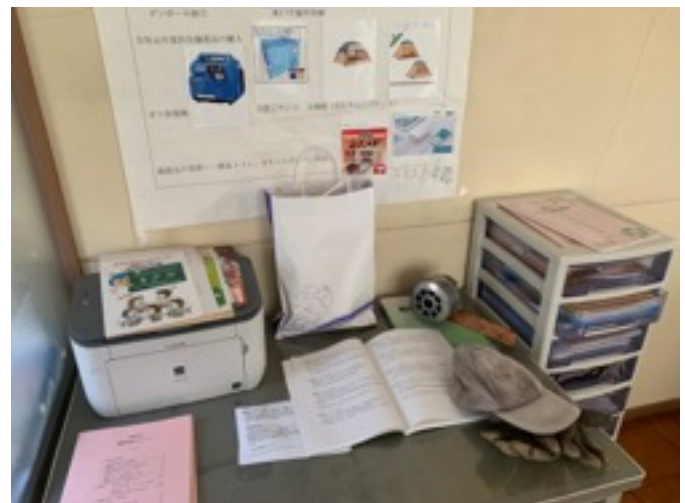
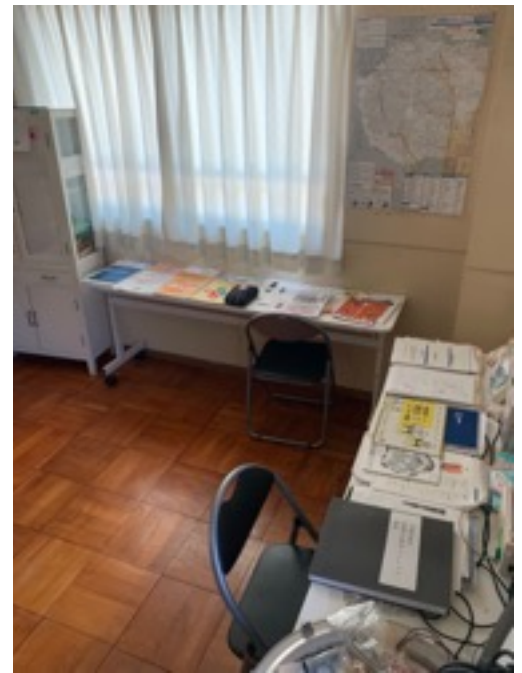


平城西地域の自主防災防犯小委員会 防災情報研修センター（案）

(<http://203.212.59.9/hn/>)



平城西幼稚園は令和元年に閉園し、その後、住民のために利用することになりました。地域協議会の本部、グランドゴルフをはじめ、キンダーガーデニングの畑作り等。建物の1階部分（職員室関係）はミーティング室、台所設備もあり、女子防災団の物品倉庫、地域協議会の事務室にも利用され、特に元園長室は適度な広さがあり、現在「防災情報研修ライブラリー」という形となり、活用しています。（上記の写真）

このライブラリーには、奈良市危機管理課の配布物、防災リーダのもの、防災士会のもの、町内地域の地図、防災マップ、避難マニュアルなど防災関連のもの全般を、おもには地域の役員のために置いてあります。HPのコピーを保管するコンピューター（寄付）を置き、バックアップ等（スキャンされた物とともに）置かれています。現在、Wi-Fiも提供されています。

この旧幼稚園は第1避難所である登美ヶ丘中学校の隣に位置する平城西小学校隣にあるのでこの場所は、いざという時に、防災本部の運営メンバーが簡単に利用できる「避難事務所（中枢）」のようなものと考えています。その為、無線技術（トランシーバーとSDRラジオなど）が置いてあり、日常的に地域の人々が自由に利用し、使い方を練習することもできます。

本ライブラリーをセンターとして登録ができれば、避難所ではなく、避難時に使われる施設だと考えています。実際に運用するにあたり、一般の方々は近くの公園や中学校の体育館に避難しながら、防災本部の人がこの施設を利用して、勉強する場所になると考えています。そのような位置付けにするための手順が必要だと考えられます。

すでに現ライブラリーに隣り合う部屋は、避難訓練準備のためや、女性防災の会議に、他室は地区避難備品保管等にも使っています。

予算の観点からニーズが低く、市が場所、電気代、水などを管理する状態で、部屋内の備品は配布された物、寄付されたものばかりで、作業についてはボランティアベースで管理できます。有益なものとしては、（有資格）防災士になるための資料も含めてある。

スタッフは地域の防災士、防災防犯会のメンバー、各自治会の防災部会のメンバーから選ばれます。初期年（令和8年度）はキャンベルが担当します。

ライブラリーとセンターとの違いは、主に使い方の違いで、つまり、センターという格付けであれば、積極的に地域防災防犯会のメンバーへサービスを提供するもので、日常的に防災メンバーの活動ベースともなり、災害時には避難所に隣り合った、最近接の中心施設、設備となります。

平城西地区のR7年の総会の防災計画から：

第7号議案 (p.9)

令和7年度 平城西地区自主防災防犯会 活動計画 (案)

。。。。

(4) 地区住民の防災意識の啓発と高揚活動内容

- 1 各自治会防災防犯会や女性防災クラブとの連携を強化し、住民の防災意識啓発と高揚を図る。
尚、女性防災クラブから会長が自主防災防犯会に加入。
- 2 広報誌「いきいき平城西」やチラシを活用し広報活動を実施。
- 3 **地区防災情報研修センターの整備構築。**

会長 第1副会長 役員・委員

。。。。

